令和７年度　基本評価調書	所管部局	経済部	所管課	ＤＸ推進課

施策名	スタートアップ創出・集積の促進	施策コード	0515
政策の柱	産業活性化・業種横断分野	政策体系コード	1(6)A
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策、北海道Ｓｏｃｉｅｔｙ５．０推進計画、ゼロカーボン北海道推進計画	事務事業数	3
特定分野別計画			
SDGs		総合判定	概ね順調

予算額（千円）	R5	50,000千円	R6	46,388千円	R7	46,388千円

施策目標	スタートアップの創出・集積の促進に向けたスタートアップ・エコシステムの拡大・強化のため、伴走支援による起業家の育成や、ビジネス環境の国内外へのPRなどに取り組む。
現状と課題	（スタートアップの創出） 道内では、ＩＴやバイオ産業を中心としたスタートアップが札幌市に集中している一方、地域では、手本となる身近な先輩起業家との接点が少ないことなどからスタートアップの創出が進んでいないため、革新的な技術やアイデアにより地域課題の解決に大きな役割を担うスタートアップを各地域から創出することが必要。 （スタートアップの集積） スタートアップ・エコシステムの拡大・強化のためには、道内への集積を促進することが重要であることから、地域課題の解決に向けたスタートアップと道内自治体や事業者との協業や本道のビジネス環境の優位性等について国内外へPRを行うことが必要。

<主な取組>

今年度の取組	（スタートアップの創出） ・起業に関心のある社会人等を対象としたビジネスアイデアを創出するワークショップの開催 ・事業計画策定から投資家とのマッチングまで一貫した伴走支援の実施 （スタートアップの集積） ・オープンイノベーションプログラム 道内自治体等とスタートアップのマッチングによる実証実験への支援 ・スタートアップ・ビザ取得者への定着支援 海外起業家を対象とした申請前から入国後の定着までの支援(通年) ・札幌・北海道スタートアップ･エコシステムのPR 道外の投資家等を集めたPRイベントの開催
実績と成果	（スタートアップの創出） ・起業に関心のある社会人等を対象としたビジネスアイデアを創出するワークショップの開催 BASIC PROGRAM:オンラインで計5日間で開催、延べ100人参加、 IDEA PROGRAM：道内5カ所2日間で開催、延べ143人参加、 ADVANCED PROGRAM：5名選考しオンライン+対面により計3回実施 ・事業計画策定から投資家とのマッチングまで一貫した伴走支援の実施 （スタートアップの集積） ・オープンイノベーションプログラム 道内自治体等とスタートアップのマッチングによる実証実験への支援を実施 計3社とマッチングし実証実験への支援を実施 ・スタートアップ・ビザ取得者への定着支援 海外起業家を対象とした申請前から入国後の定着までの支援（定着支援者数：15名） ・札幌・北海道スタートアップ･エコシステムのPR 道外の投資家等を集めたPRイベントの開催(道内3地域、延べ600名以上、参加国：18カ国以上)

参考HP①	北海道のスタートアップ支援	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sus/startup.html
参考HP②	スタートアップ北海道実行委員会ホームページ	https://startuphokkaido.com/
参考HP③		

令和７年度　基本評価調書	【1(6)A_0515】スタートアップ創出・集積の促進

<指標分析>　*成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
北海道におけるスタートアップの創出・集積数			社	R4年度	R5年度	R6年度	R15年度	94.7%	B （90%以上100%未満）
			目標値	－	－	150	500		
			実績値	－	124	142			

設定理由 *要件(1)(2)*	本指標は、スタートアップの創出・集積企業数の累計値であり、北海道におけるスタートアップエコシステムの整備状況や成長度合いを図る指標として設定。 （R5年6月にスタートアップ推進室を組成し取組を開始したため、一部過年度の目標値・実績値は空欄）		
公表時期	調査実施年の翌年2月公表	根拠計画等 *要件(3)*	北海道総合計画

分析（主な取組と成果）

R5年度と比較して創出・集積数は18社増となった。増加要因としては以下のとおりと考えられる。
①オール北海道体制：2023年設立の「スタートアップ北海道」行政一体による制度設計・支援体制の整備
②資金調達増：DeepTech系を中心に大型調達が集中
③プログラム活用：アクセラレータープログラム等の活発化

成果指標②	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標③	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標④	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*			
公表時期		根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

令和７年度　基本評価調書	【1(6)A_0515】スタートアップ創出・集積の促進

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） スタートアップの創出・集積は、当該地におけるスタートアップエコシステムの確立に依っており、行政、支援機関等の緊密な連携が必要である。 （取組と成果） 道、札幌市、経済産業局などで構成されるスタートアップ支援機関である「スタートアップ北海道」の各種取組及び伴走支援によって、北海道内において着実にスタートアップの創出・集積につながった。 また、本年6月には内閣府より「第２期スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選定され、関係者間の取組を加速させた。

緊急性・優先性	（課題） 少子高齢化が進み、広大な面積を有する北海道においては社会的な課題が山積している。スタートアップの技術やアイデアを活用し、これらを解決するとともに、域内経済の活性化につなげる必要がある。 （取組と成果） 本年6月に、内閣府から選定された「第２期スタートアップ・エコシステム拠点都市」の構想において、特に、宇宙、一次産業・食、環境・エネルギー分野を重点的に取組みを進めることとした。北海道の強みを活かすことができるこれら分野において、伴走支援と実証フィールドの提供を軸に取組を進めた。

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
	R4年度	R5年度	R6年度
企業立地件数	98件	103件	100件

（課題）

多様化する企業のリスク分散の視点や立地の動きを的確に捉え、首都圏等との同時被災リスクの低さや豊富な再生可能エネルギーといった本道の優位性を活かした企業誘致を進めていく必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
次世代半導体製造拠点の立地を契機とした半導体関連の工場立地が見られたほか、北海道ブランドや良質な水、豊かな食資源などに着目した食品工場や酒類製造業の進出、風力などの再エネを活用した発電所の立地といった動きがあった。[R6実績:100件の内訳（製造業57社、産業支援サービス業14社、その他29社）、そのうち道外進出企業30社（新設）。]	a

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
	R4年度	R5年度	R6年度
「北海道スタートアップスタジオ」の延べ参加者数	-	219名	248名

（課題）

道内では、ＩＴやバイオ産業を中心としたスタートアップが札幌市に集中している一方、地域では、手本となる身近な先輩起業家との接点が少ないことなどからスタートアップの創出が進んでいないため、革新的な技術やアイデアにより地域課題の解決に大きな役割を担うスタートアップを各地域から創出することが必要。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
起業に関心のある社会人や学生を対象に、ビジネスアイデアの創出段階から事業化を見据えた支援まで、段階的なプログラムを展開した。この際、参加者と手本となるビジョナリー起業家との接点を創出し、また、事業アイデア創出にとどまらず、事業計画策定から投資家とのマッチングまで一貫した伴走支援を実施している。加えて、希望者にはVC・CVC等とのネットワーキング機会を提供することで、地域スタートアップの事業化・成長を後押ししている。今後もこのような取組を通じて起業関心層の発掘を進めるとともに、起業関心層の企業に向けたビジョン創出のため、起業家・投資家との接点構築を道内各地で進めることとする。	a

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

（課題）

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定

令和７年度　基本評価調書	【1(6)A_0515】スタートアップ創出・集積の促進

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

■判定が「D」の成果指標
（該当なし）

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	今後も地域のスタートアップ関心層の掘り起こしと起業モチベーションにつながるプログラムを創出することにより、道内全体のスタートアップシーンの盛り上げとエコシステムの促進に努める。
	②	
	③	

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	

前年度の二次政策評価意見（区分）

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	ターゲット層に応じたプログラムの見直しや関係機関との連携強化等を通じてスタートアップ関心層の掘り起こしを推進するとともに、地域の課題とスタートアップのマッチングを進めることで、その解決と道内におけるスタートアップの機運醸成を図る。
	②	
	③	

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	スタートアップ創出・集積の促進	施策コード	0515

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	出先機関	人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	翌年度の方向性
0585		一般	スタートアップ創出促進事業	スタートアップの創出に向け、起業家育成や伴走支援などに取り組む	ＤＸ推進課	0	26,989	8,815	1.3	0.0	1.3	37,617	①	改善（取組分析）			改善
0586		一般	スタートアップ集積促進事業	スタートアップの集積に向け、道内自治体等とSUのマッチングや札幌・北海道スタートアップ・エコシステムのPRなどに取り組む	ＤＸ推進課	0	19,399	14,379	1.3	0.0	1.3	30,027	①	改善（取組分析）			改善
0587		事務	スタートアップ関連総合調整業務	スタートアップ関連業務について、関係部局と協議・調整を図る。	ＤＸ推進課	0	0	0	0.4	0.0	0.4	3,270	①	改善（取組分析）			改善
計						0	46,388	23,194	3.0	0.0	3.0						